

令和 7 年度

# 県営土地改良事業変更計画書

農地中間管理機構関連農地整備事業

都道府県名	福岡県
地区名	薦野清滝
所在地	古賀市
事業主体	福岡県

## 目

## 次

第 1 章	目 的	1	2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	19
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1	3	動力農機具及び主要家畜頭数	19
第 1 節	地 域	1	4	主要作物作付状況	20
第 2 節	地 積	2	5	農 業 の 動 向	21
			第 6 節	地域環境の概況	22
第 3 章	現 況	3			
第 1 節	気 象 及 び 海 象	3	第 4 章	一 般 計 画	23
1	一 般 気 象	3	第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	23
2	特 殊 気 象	3	1	要 旨	23
3	海 象	4	2	事 業 別 面 積	23
第 2 節	土 地 状 況	4	第 2 節	営農計画及び土地利用計画	24
1	地形、土壌及び浸食の程度	4	1	営農計画の概要	24
2	土 地 分 類	6	2	土 地 利 用 区 分	25
3	土地利用の状況	7	3	作 付 方 式	26
4	土地所有の状況	8	4	生 産 計 画	27
第 3 節	水 利 状 況	9	5	労 働 改 善 計 画	28
1	用 水 状 況	9	6	級地別土地利用区分	29
2	排 水 状 況	13	7	土 地 配 分 計 画	30
3	河 川 状 況	16	第 3 節	用 水 計 画	30
第 4 節	道 路 現 況	17	1	計 画 基 準 年	30
1	道 路 概 況	17	2	計 画 かんがい方式	30
2	主要道路一覧表	17	3	計 画 用 水 系 統	30
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	18	4	計 画 用 水 量	31
1	産 業 別 就 業 人 口	18	5	水 源 計 画	33

第4節	排水計画	38	3	取水施設改修計画	55
1	計画基準雨量	38	第5章	主要工事計画	55
2	計画排水方式	38	第1節	用水施設	55
3	計画排水系統	38	1	貯水池	55
4	計画排水量	39	2	頭首工	56
5	排水対策	40	3	揚水機	57
6	湛水検討	42	4	用水路	58
第5節	道路計画	43	5	その他かんがい施設	59
1	道路及び索道	43	第2節	排水施設	60
2	路線配置図	44	1	排水水門	60
第6節	農用地造成計画	45	2	排水機	60
1	農用地造成計画	45	3	排水路	61
2	土壌改良	45	4	その他排水施設	61
第7節	洪水調節計画	46	第3節	道路及び索道	62
1	計画基準雨量	46	1	道路	62
2	計画洪水量及び調節量	46	2	索道	64
3	貯水池	46	第4節	農用地造成	65
4	洪水調節検討	47	1	農用地造成	65
5	管理計画	47	2	土壌改良	68
第8節	干拓計画	48	第5節	洪水調節施設	69
第9節	農用地整備計画	49	1	貯水池	69
1	区画整理	49	2	頭首工及び導水路	69
2	暗渠排水	51	第6節	干拓施設	70
3	客土	52	1	堤防	70
4	農地保全	53	2	潮止め	70
第10節	老朽ため池改修計画	54	3	附属施設	71
1	洪水吐改修計画	54	4	埋立	71
2	堤体補強計画	54			

第7節	農用地整備施設	71	1	評価の方法	81
1	区画整理	71	2	清算の方法	81
2	暗渠排水	73	第5節	換地計画樹立の年度計画	81
3	客土	74	第6節	換地処分の時期に関する特則	81
4	除礫	74	第10章	事業費の総額及び内訳	82
5	農地保全	75	第11章	効用	82
第8節	老朽ため池改修施設	76	第12章	関連する事業	83
1	貯水池	76	第13章	現況・計画図面	83
2	堤体補強施設	76	1	現況平面図	83
第6章	付帯工事計画	77	2	計画平面図及び土地利用計画図	83
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	77	3	主要構造図	83
第8章	環境との調和への配慮	77			
第9章	換地計画の概要	78			
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	78			
第2節	換地区の設定	78			
1	換地区の名称、所在、面積	78			
2	換地区を設定する理由	78			
第3節	換地計画樹立の基本方針	78			
1	従前の土地の地積の基準	78			
2	用途別予定地積	79			
3	農用地集団化の方針	80			
4	非農用地換地の方法	80			
第4節	土地の評価及び清算の方法	81			

## 第1章 目的

農業生産の基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路、農道、暗渠排水の整備及び農用地の集団化を一体的に実施し、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な担い手を育成する。

農業所得の安定と優良農地を将来にわたり適切に維持、保全し活力のある農村の建設と安定した農業生産の基礎の確立を目的とする。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農地中間管理機構関連農地整備事業	古賀市薦野

第2節 地 積

(令和 6 年 12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	畑 (ha)	宅地 (ha)	山林原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
農地中間管理機構関連農地整備事業	古賀市	14.6	0.0	2.9	0.1	0.1	3.4	21.1	
	計	14.6	0.0	2.9	0.1	0.1	3.4	21.1	
	計								
	計								
	計								
	計								
	計								
合 計		14.6	0.0	2.9	0.1	0.1	3.4	21.1	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福岡観測所		かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備 考
観測期間	昭和21年～令和2年		6月～10月		11月～5月			
平均気温 (°C)			20.3 °C		10.7 °C		(年平) 15.8 °C	
降水量	平均	(mm)	1,039 mm		666 mm		1,705 mm	
	基準年	(mm)	730 mm		662 mm		1,392 mm	用水計画基準年 … 昭和50年
降水日数	平均	(日)	68		72		140	
	基準年	(日)	77		124		201	用水計画基準年 … 昭和50年
根雪期間			- 月 - 日 ~ - 月 - 日				- 日間	
無霜期間			- 月 - 日 ~ - 月 - 日				- 日間	
最多風向			N		最大風速 (風向)		24.4 m/s (SS0)	最多風向発生時期 9月 最大風速発生年月日 1978年9月15日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福岡観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	236.0	H30.7.6	1/60	233.0	S58.7.16	1/55	229.3	S38.6.29	1/45	212.5	H13.6.19	1/25	191.1	S28.6.28	1/13	
最大時間雨量 (mm)	96.5	H9.7.28	1/200	79.5	H11.6.29	1/50	73.2	S32.8.3	1/30	72.5	H25.8.30	1/28	71.5	H21.7.24	1/26	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	623.5	S28	1/85	599.0	S60	1/70	497.0	S54	1/25	477.5	S55	1/20	421.0	H13	1/12	
最大連続干天日数 (日)	48	S59, H2	1/500	35	H23	1/35	33	H6	1/25	30	H10	1/13	28	H15	1/9	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名	既往最高位 潮	さく望平均位 満潮	上下弦平均位 満潮	平均潮位	上下弦平均位 干潮	さく望平均位 干潮	既往最低位 潮	備考
観測期間	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実測値	( )	該当なし					( )	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ~ 8°	8° ~ 15°			15° ~ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°						
農地中間 管理事業 機構	面積 (ha)	-	-	14.6	-	-	14.6	2.9	-	-	-	-	-	-	2.9	121.95	89.99	
	比率 (%)	-	-	100	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)	-	-	14.6	-	-	14.6	2.9	-	-	-	-	-	-	2.9	121.95	89.99	
	比率 (%)	-		100	-	-	100	100	-	-	-	-	-	100				

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表										面積 (ha)		備考
	土壤断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化 沈澱物	土性			泥炭層・黒泥層 及びグライ層			計	計	
					表土 一層	下層土 二層 三層							
灰褐色土壤群粘土質 構造マンガン型 (G-61)	7.5YR	含量	円~半 角, 含む	—	CL	CL	CL	なし	—	—	13.0	13.0	調査地点 No. 1
	7.5YR 5YR	含量	角, 含む	—	CL	CL	SL	なし	—	—			調査地点 No. 2
黄褐色土壤群粘土型 (I-82)	7.5YR 10YR 5YR	含量	円, 富む	—	CL	CL	CL	なし	—	—	4.5	4.5	調査地点 No. 3
小計											17.5	17.5	
小計											0.0	0.0	
計											17.5	17.5	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0 ~ 25%	25% ~ 50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面積 (ha)				該当なし							
	比率 (%)											

## 2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 (ha)	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		二 級 地				三 級 地				四 級 地			
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
					該当なし								※は 傾斜以外の要 因によるもの
計													

(第4表-2-2)

市町村名	級位別 (ha)	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
				該当なし			
計							

3. 土地利用の状況

(令和 6 年 12 月現在)

(第 4 表- 3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考	
		水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園その他 (ha)	用材林 (ha)						薪炭林 (ha)
農地中間管理機構関連農地整備事業	古賀市	14.6	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	3.6	21.1		
	計	14.6	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	3.6	21.1		
	計														
	計														
	計														
合計		14.6	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	3.6	21.1		

4. 土地所有の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第 4 表 - 4)

事業名	所有別		個人有				計	備考
	区分							
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積 (ha)		17.8				17.8	
	受益者数 (人)		46				46	
	筆数 (筆)		248				248	
	権利関係		所有権					
	備考 (関係戸数)							
合	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考 (関係戸数)							
計	面積 (ha)		17.8				17.8	
	受益者数 (人)		46				46	
	筆数 (筆)		248				248	
	権利関係		所有権					
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

別紙現況用水系統模式図参照 (P9-1)

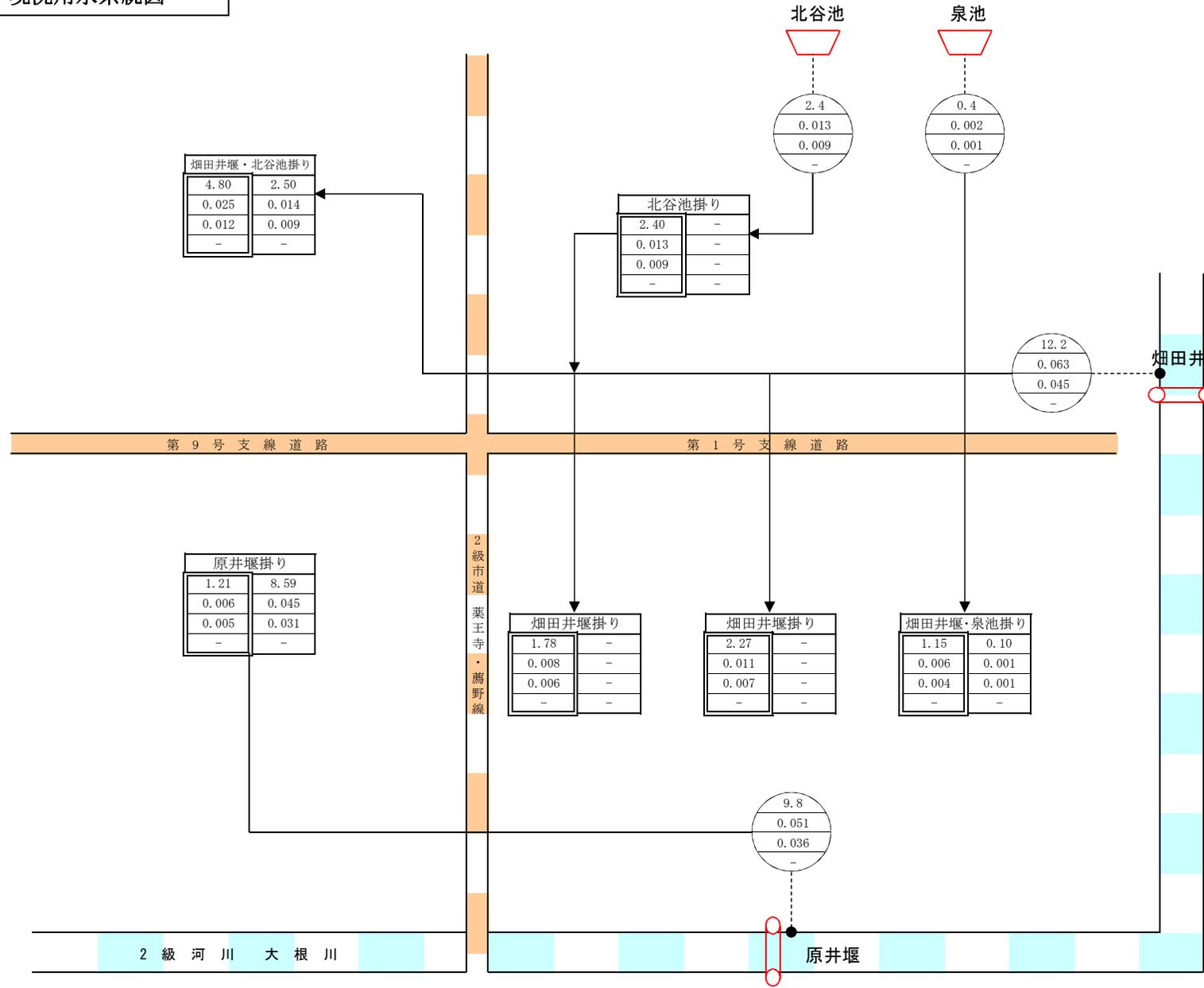
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha 以上		500ha ~ 100ha		100ha 未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /S	箇所	m <sup>3</sup> /S	m <sup>3</sup> /S	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池	-	-	-	-	2	2.8	2	2.8	-	-	2	0.015	0.015	
	井堰	-	-	-	-	2	22.0	2	22.0	-	-	2	0.114	0.114	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	4	24.8	4	24.8	-	-	4	0.129	0.129	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		-	-	-	-	4	24.8	4	24.8	-	-	4	0.129	0.129	

現況用水系統図



凡 例	
記 号	名 称
——	計 画 水 路
- - - -	現 況 水 路
○ ○	頭 首 工
▽	貯 水 池
分	分 水 工
P	揚 水 機 場
路線名 面積 代掻期粗用水量 普通期" 深水区"	地 区 内
路線名 面積 代掻期粗用水量 普通期" 深水区"	地 区 外
(イ) (ロ) (ハ) (ニ)	通 水 量
(ロ) (ハ) (ト)	還 元 水 量
(イ)	面 積
(ロ)	代 掻 期 通 水 量
(ハ)	普 通 期 通 水 量
(ニ)	深 水 期 通 水 量
(ホ)	代 掻 期 還 元 水 量
(ヘ)	普 通 期 還 元 水 量
(ト)	不 足 水 量

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年 又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	4	24.8	土水路・U字溝	2,336	不明	区画整理の為	
	その他	-	-	-	-	-	-	
	計	4	24.8	-	2,336	-	-	
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		4	24.8		2,336			

(3) 用水に関する被害状況

(7) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
			該当なし							
	計									
	計									
	合計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			
					該当なし		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	池名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
		水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	一般・公共施設	その他	計	
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
						該当なし						
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2. 排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図参照 (P13-1)

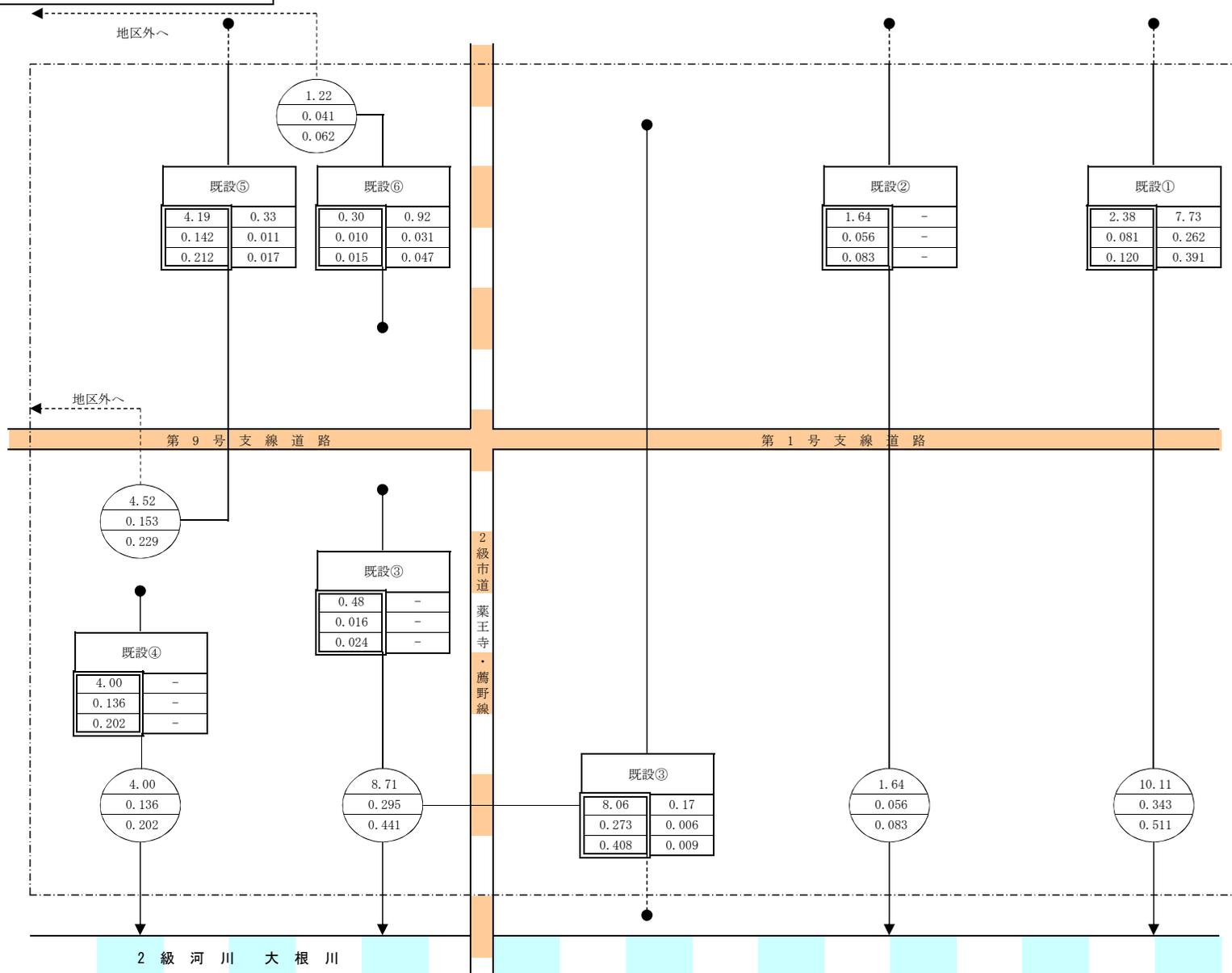
(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500ha 以上		500 ~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路	-	-	-	-	6	30.2	6	30.2	1.528	2.872	
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	-	6	30.2	6	30.2	1.528	2.872	
	<del>自然</del>	<del>排水路</del>	<del>水門</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>							
<del>排水機</del>			<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del></del>
<del>機械</del>		<del>水門及び排水機</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del></del>
		<del>排水路及び排水機</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del></del>
		<del>計</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del>-</del>	<del></del>
合計		-	-	-	-	6	30.2	6	30.2	1.528	2.872		

現況排水系統図



凡 例

記号	名称				
- · - · -	地区界				
- - - - -	既設水路				
— — — — —	計画水路				
<table border="1"> <tr><td>路線名</td></tr> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>排水量 1/2</td></tr> <tr><td>排水量 1/10</td></tr> </table>	路線名	面積	排水量 1/2	排水量 1/10	地区内
路線名					
面積					
排水量 1/2					
排水量 1/10					
<table border="1"> <tr><td>路線名</td></tr> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>排水量 1/2</td></tr> <tr><td>排水量 1/10</td></tr> </table>	路線名	面積	排水量 1/2	排水量 1/10	地区外
路線名					
面積					
排水量 1/2					
排水量 1/10					
<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>Q 1/2</td></tr> <tr><td>Q 1/10</td></tr> </table>	A	Q 1/2	Q 1/10	幹線 (合理式) 1 時間 排除 1 時間 雨量	
A					
Q 1/2					
Q 1/10					
<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>Q 1/2</td></tr> <tr><td>Q 1/10</td></tr> </table>	A	Q 1/2	Q 1/10	支線 (合理式) 4 時間 排除 4 時間 雨量	
A					
Q 1/2					
Q 1/10					
Q1/2 (m <sup>3</sup> /s)	2年確率 排水量 流量				
Q1/10 (m <sup>3</sup> /s)	10年確率 排水量 流量				

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 個所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農地中間管理機構関連農地整備	自然	排水路	6	30.2	土水路・柵工	2,336	不明	区画整理の為	
		水門	-	-	-	-	-	-	-
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
	計		6	30.2	-	2,336	-	-	-
	<del>自然</del>	<del>排水路</del>	<del>水門</del>						
<del>排水機</del>									
<del>機械</del>		<del>水門及び排水機</del>							
		<del>排水路及び排水機</del>							
		<del>計</del>	-	-	-	-	-	-	-
<del>自然</del>		<del>排水路</del>	<del>水門</del>						
	<del>排水機</del>								
	<del>機械</del>	<del>水門及び排水機</del>							
		<del>排水路及び排水機</del>							
		<del>計</del>	-	-	-	-	-	-	-
	合計		6	30.2	-	2,336	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
農地中間管理 事業機構関連 農地整備	用排兼用水路	17.5	平均	1,039						14.6		2.9			水稻 さといも ミカン ブロッコリー		土壌の透水性が悪く、 表面残留水が浸透せず 湿田化している
			基準年	730													
			平均														
			基準年														
計		17.5	平均	1,039						14.6		2.9			水稻 さといも ミカン ブロッコリー		土壌の透水性が悪く、 表面残留水が浸透せず 湿田化している
			基準年	730													

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表-7)

項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考
河川名			該当なし			

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
区分					
過去の最大被害額		該当なし			
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

別紙 現況土地利用図参照 (P17-1)

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考	
				全幅	有効				
	農道	市	1,575	2.8	2.3	砕石	要		
	農道	市	190	2.8	2.3	コンクリート	要		
1	2級市道 葉王寺・薦野線	市	2,525	10.7	8.7	アスファルト	否		
2	その他市道 薦野2号線	市	842	5.5	4.5	コンクリート	要		
3	その他市道 薦野3号線	市	442	3.1	2.6	コンクリート	要		
4	その他市道 薦野4号線	市	387	2.5	2.0	コンクリート	要		
5	その他市道 薦野9号線	市	385	2.9	2.4	コンクリート	要		
6	その他市道 薦野13号線	市	512	2.8	2.3	コンクリート	要		
7	その他市道 薦野14号線	市	75	2.7	2.2	コンクリート	要		
8	その他市道 薦野15号線	市	174	2.9	2.4	コンクリート	要		
9	その他市道 薦野16号線	市	155	2.7	2.2	コンクリート	要		
10	その他市道 薦野17号線	市	709	3.8	3.3	コンクリート	要		
11	その他市道 薦野18号線	市	491	5.3	4.8	コンクリート	要		



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
古賀市	27,180	566	3	1	4	1,880	4,916	118	2,763	4,490	550	531	9,437	1,017	904	第65次 福岡農林水産統 計年報
計	27,180	566	3	1	4	1,880	4,916	118	2,763	4,490	550	531	9,437	1,017	904	
比 率 (%)	100	2.1	0.0	0.0	0.0	6.9	18.1	0.4	10.2	16.5	2.0	2.0	34.7	3.7	3.3	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)		備考	
		受例外規定の適用を	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専業	兼業		
			~	~	~	~	~	~	~	~	ha											第一種		第二種
古賀市	372	14	28	85	49	24	19	19	14	4		116	1.53	0.38	1.23	3.14	-	3.14	-	-	59	45	144	
計	372	14	28	85	49	24	19	19	14	4	-	116	1.53	0.38	1.23	3.14	-	3.14	-	-	59	45	144	
比率 (%)	100	3.8	7.5	22.8	13.2	6.5	5.1	5.1	3.8	1.1	-	31.2	48.7	12.2	39.1	100	-	100	-	-	23.8	18.1	58.1	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏				
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)									
古賀市	193	198	243	270	186	189			-	-	-	-	308	3			
計	193	198	243	270	186	189	-	-	-	-	-	-	308	3			
100戸当たり数量(台、頭)	97		90		98		-		-		-		10267				
利用戸数割合 (%)	30.1		41.1		28.8		-		0.0		0.0		100.0				

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名		古 賀 市						計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)		466						466			
総 本 地 面 積 (ha)											
区 分		作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	(%)	
作物名		(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	280	407				280	407	60.1	第67次 福岡農林水産 統計年報
	裏 作	小 麦	33	461				33	461	7.1	
	小 計		313					313		67.2	
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小 計										
樹園地											
	小 計										
計		313					313		67.2		
市町村別延べ作付率 (%)		67.2						67.2			

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	90	81	耕地	94	90	水 稲	105	100	乳 用 牛	-	-	動力田植機	91	69	A:2015年  B:2010年  C:2005年  (農林業センサス)	
	専業農家数	113	133	田	98	95	小 麦	-	-	肉 用 牛	-	-	トラクター	93	72		
	第一種 兼業農家数	82	59	畑	88	84	大 豆	-	-	豚	-	-	コンバイン	93	77		
	第二種 兼業農家数	83	67	樹園地	81	73				採卵鶏	110	83					
	農業 従事者数	93	85							ブロイラー	-	-					
変化の 理 由	後継者の減少及び高齢化等に伴い、専業農家は増加傾向にあるが、総農家数は減少傾向にある。			都市化の進展に伴う転用及び農家数の減少により、耕地は減少傾向にある。			生産組織や担い手農家等への作業受委託をし、大型機械化している。			農家規模縮小のため、家畜飼育頭数は減少傾向にある。			土地基盤整備の進展に伴い、生産組織や担い手農家等への作業受委託が進んでいることにより、動力農機具は減少傾向にある。				

## 第6節 地域環境の概況

古賀市は福岡市と北九州市の間に位置する大都市近郊都市であり、JR鹿児島本線、国道3号、国道495号が市内を南北に並行しており、市西部には住宅地、商業地、工業地が集積され市街地が形成されている。また、九州自動車道 古賀インターチェンジや古賀サービスエリアが位置するなど広域交通の要衝となっており、福岡市都心部までは約15kmの距離にある。

薦野清滝地区が所在する東部には三郡山地からなる犬鳴山地がある。町中心部にはその山地から大根川が流れており、大根川と隣にある中川の堆積、扇状地で小平地を形成している。北部と南部には、丘陵地があり、それぞれ福津市、新宮町に接している。

主要な水系としては、中川、犬鳴山系・立花山系に発する大根川が流れ、ともに玄界灘に注いでいます。植生は、河内池周辺の常緑広葉樹自然林、海岸部の海岸砂丘草原などが一部残されるものの、多くは人の営みとともに成立した、スギ・ヒノキ植林、果樹園などが里地里山を形成している。分布もしくは分布の可能性のある希少動物としては、ツクシオオガヤツリ、カスミサンショウウオ、ニッポンバラタナゴなどが確認されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

農地の区画形質の改善。用排兼用水路の用排分離。農道計画等の整備を行い、農地の荒廃、耕作放棄地の防止と共に高収益農業や施設野菜を集団化、団地化し効率的で安定した農業経営を目指し、国土保全と地域の活性化を図る。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 区 地 用 分 事業目的	農地中間管理機構関連農地整備事業														計 (ha)	備 考								
	水 田 (ha)	輪 換 耕 地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	(ha)	(ha)	小 計 (ha)			水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	(ha)	(ha)	小 計 (ha)	
区 画 整 理	14.3	-	1.4	-	-	5.4	21.1																21.1	
計	14.3	-	1.4	-	-	5.4	21.1																21.1	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

本地区は、古賀市の東部に位置し、県道薦野・福間線接した山間部の未整備農地であるが、地区内には非農用地及び農振白地が点在しない農振農用地区域である。

現在は薦野清滝農区の個別農家を中心とした農業経営となっているが、農地整備事業後は農業生産法人「エバーグリーン清滝・(株)泰正農園・秋山園芸」を中心とした農地利用集積が見込まれる区域であることから、地形的にも、営農的にも一体性があり、農地整備事業計画において現実的なエリアである。

また、不整形・狭小な農地区画の整形・拡大、用排水施設、暗渠排水、農道等を総合的に整備し、水田の汎用化を契機として野菜・果樹等の生産振興及び耕地利用率の向上を図るとともに、今後の地域の中心となる経営体（農業生産法人）への農地利用集積を促進することで、農業経営の安定と持続的な農業の展開を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	山原 林野	非農用地	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)									
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	14.6	-	2.9	-	-	-	-	17.5	-	0.3	3.3	21.1	
	計画	14.3	-	1.4	-	-	-	-	15.7	-	0.3	5.1	21.1	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	14.6	-	2.9	-	-	-	-	17.5	-	0.3	3.3	21.1	
	計画	14.3	-	1.4	-	-	-	-	15.7	-	0.3	5.1	21.1	



4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単収増減	
	土地利用区分																
農地中間管理機構関連農地整備事業	水田	表作	水稻	13.1	12.5	△ 0.6	94	92	461	484	23	60.4	60.5	0.1	△ 0.6	△ 0.2	水管理改良, 乾田化, 作付減
			アスパラガス	-	0.5	0.5	-	4	3,500	3,990	490	-	20.0	20.0	0.5	40.0	水害防止, 作付増
			シャクヤク	-	0.6	0.6	-	4	4,610	4,610	-	-	27.7	27.7	0.6	46.2	作付増
		裏作	ブロッコリー	0.6	2.0	1.4	4	15	790	1,028	238	5.0	20.8	15.8	1.4	11.3	田畑輪換, 水害防止, 作付増
	計			13.7	15.6	1.9	98	115				65.4	129.0	63.6	1.9	97.3	
	普通畑	表作	さといも	0.1	-	△ 0.1	4	-	698	900	202	0.7	-	△ 0.7	△ 0.1	7.0	水害防止, 作付減
			イチゴ	-	0.6	0.6	-	46	3,816	4,579	763	-	27.5	27.5	0.6	45.8	水害防止, 作付増
			ミカン	0.4	-	△ 0.4	14	-	1,785	2,606	821	7.1	-	△ 7.1	△ 0.4	17.8	水害防止, 作付減
			スモモ	-	0.7	0.7	-	54	1,077	1,669	592	-	11.7	11.7	0.7	16.7	水害防止, 作付増
	計			0.5	1.3	0.8	18	100				7.8	39.2	31.4	0.8	87.3	
合計			14.2	16.9	2.7	85	113				73.2	168.2	95.0	2.7	184.6		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
農地中間管理機構関連農地	田	水稻	12.5	人力	350	125	△ 225	本地面積	
				機械	192	71	△ 121		
		アスパラガス	0.5	人力	11,065	10,981	△ 84		
				機械	2,384	2,300	△ 84		
		ジャクヤク	0.6	人力	2,940	2,810	△ 130		
				機械	350	220	△ 130		
	ブロッコリー(裏)	2.0	人力	1,117	788	△ 329			
			機械	297	210	△ 87			
	普通畑	イチゴ	0.6	人力	20,274	19,392	△ 882		
				機械	1,355	1,230	△ 125		
		スモモ	0.7	人力	2,490	2,420	△ 70		
				機械	480	410	△ 70		
	計		16.9						
	合計				43,294	40,957	△ 2,337		

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区 分		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計	
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計		
土地利用区分	級地名												
	農地	田											
		輪換耕地											
		畑	該 当 な し										
		(普通畑)											
		(牧草畑)											
		樹園地											
		(果樹園)											
		(桑園)											
そ の 他													
計													

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考	
		田	輪換耕地	畑			計			
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
入植		( )	( )	該当なし			( )	( )	( )	

第3節 用水計画

1. 計画基準年 昭和50年 (1/10年確率)

本地区の計画基準年は、福岡管区気象台(福岡観測所)の昭和21年～令和2年(74年間)の気象データに基づいて、かんがい期の有効雨量、連続干天日数及びかんがい期降雨量の確率計算を行い、指標の1/10年確率に相当する計画基準年を決定する。

2. 計画かんがい方式

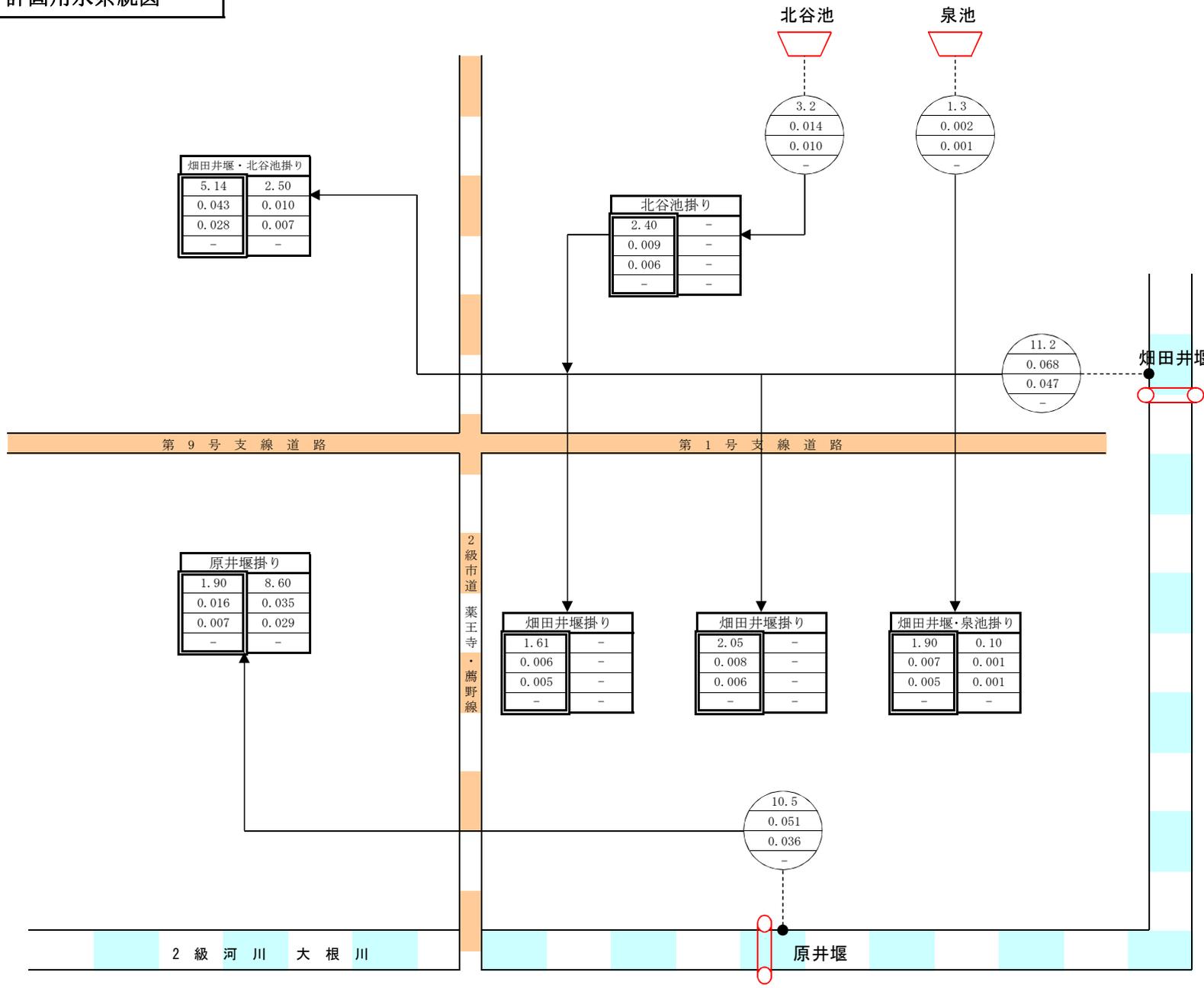
本地区は、大根川(2級)の井堰2ヶ所(畑田井堰・原井堰)、泉池・北谷池2ヶ所、により取水し、地区内の支線用水路(U字溝)により自然かんがいを行う。

輪換畑は、うね間かんがい方式とする。

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照 (P30-1)

計画用水系統図



凡 例	
記 号	名 称
—	計 画 水 路
- - - -	現 況 水 路
○ ○	頭 首 工
▽	貯 水 池
分	分 水 工
P	揚 水 機 場
路線名 面積 代播期粗用水量 普通期 " 深水期 "	地 区 内
路線名 面積 代播期粗用水量 普通期 " 深水期 "	地 区 外
(イ) (ロ) (ハ) (ニ)	通 水 量
(ロ) (ハ) (ト)	還 元 水 量
(イ)	面 積
(ロ)	代播期通水量
(ハ)	普通期通水量
(ニ)	深水期通水量
(ホ)	代播期還元水量
(ハ)	普通期還元水量
(ト)	不 足 水 量

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			事業名			普通期 計画平均 (mm/日)	代かき期 計画代かき (mm)	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	単位 面 用水 量均 (mm/日)	面積 (ha)			平 均 (m <sup>3</sup> /s)	最 大 (m <sup>3</sup> /s)	
			農地中間管理 機構関連農地整備 事業	計	計																
	泉池掛かり	農業用水	1.3	-	1.3	20.1	150.0	1.3	5	7	1.3	-	-	-	-	-	0.002	15 (田) 40 (畑)	-	0.002	
	北谷池掛かり	〃	3.2	-	3.2	20.1	150.0	3.2	5	7	3.2	-	-	-	-	-	0.014	15 (田) 40 (畑)	-	0.014	
	畑田井堰掛り	〃	11.2	-	11.2	22.6	150.0	11.2	5	7	11.2	-	-	-	-	-	0.043	15 (田) 40 (畑)	-	0.043	
	原井堰掛り	〃	10.5	-	10.5	20.1	150.0	10.5	5	7	10.5	-	-	-	-	-	0.006	15 (田) 40 (畑)	-	0.006	
	計		26.2	-	26.2	-	-	26.2	-	-	26.2	-	-	-	-	-	0.065	-	-	0.065	-

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補 給 回 数  (回)	関 係 戸 数  (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					
					該 当 な し				

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

区 分	項 目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考	
						水源名	取水地点 利用 可能量	ほ 場 利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水 量			
							e (千m <sup>3</sup> )	f (千m <sup>3</sup> )	g=c-f (千m <sup>3</sup> )	h=d-e (千m <sup>3</sup> )		(千m <sup>3</sup> )			
		a (千m <sup>3</sup> )	b (千m <sup>3</sup> )	c=a-b (千m <sup>3</sup> )	d=c/(1-α) (千m <sup>3</sup> )									損失率: α	
農地中間管理機構 関連農地整備事業	泉池掛かり	24.1	18.0	6.1	7.2	-	7.2	6.1	-	-	-	-	-	α = 15%	
	北谷池掛かり	143.8	104.0	39.8	46.8	-	46.8	39.8	-	-	-	-	-		
	畑井堰掛かり	494.8	302.0	192.8	226.8	大根川	226.8	192.8	-	-	-	-	-		
	原井堰掛かり	201.0	47.0	154.0	181.2	大根川	181.2	154.0	-	-	-	-	-		
	計	863.7	471.0	392.7	462.0	-	462.0	392.7	-	-	-	-	-		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名							
	直接	間接	農地中間管理機構関連 農地整備事業		計					
北谷池	0.03	-	3.2		3.2	6.6	-	-	-	
泉池	0.04		1.3		1.3	0.5	-	-	-	
計	0.07	-	4.5	-	4.5	7.1	-	-	-	

## (イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

取水施設名	項目	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)		取水量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考
				事業名		最 大 (m <sup>3</sup> /s)	平 均 (m <sup>3</sup> /s)	
				農 連 農 地 中 間 管 理 機 構 関	計			
畑田井堰掛かり		大根川	5.80	11.2	11.2	0.068	0.043	0.068
原井堰掛かり		〃	5.90	10.5	10.5	0.051	0.045	0.051
計				21.7	21.7	0.119	0.088	0.119

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		農地 中間 管理 備機	農地 中間 管理 備機	計							
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	農地中間管理機構関連 農地整備事業		計				
支線用水路 支線用排水路用水路	26.2		26.2	0.069	3.706	U字溝	(第1号~14号支 第1~2号用排)
計	26.2	—	26.2		3.7		

(オ) その他の水源施設

\_\_\_\_\_

(3) 水 温 水 質

\_\_\_\_\_

#### 第4節 排 水 計 画

##### 1. 計画基準雨量

福岡観測所降雨資料（昭和21～令和2年 74年間）に基き確率計算により決定。

1時間雨量 ..... 60.58mm（1/10年確率）・40.06mm（1/2年確率）

4時間雨量 ..... 97.16mm（1/10年確率）・65.09mm（1/2年確率）

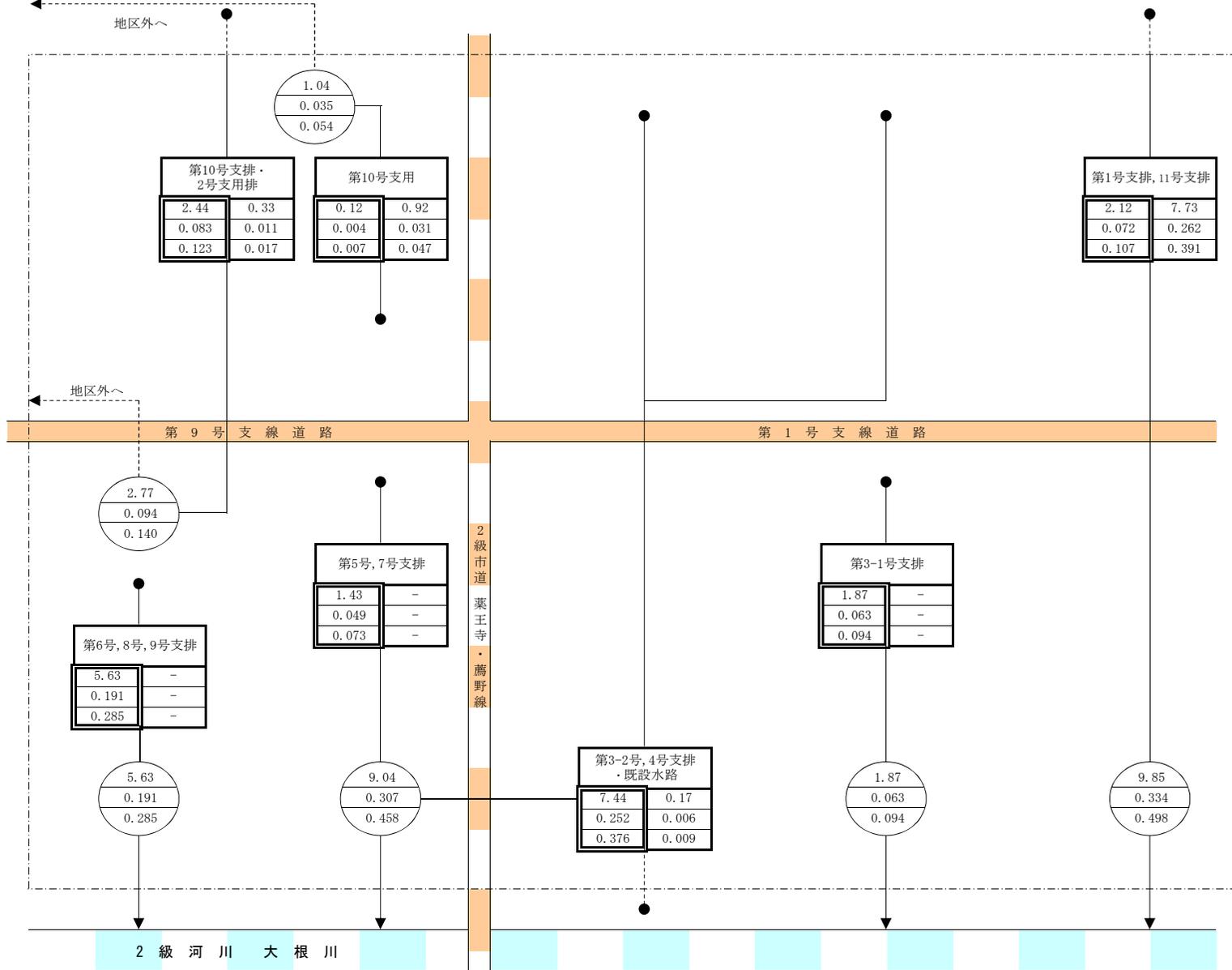
##### 2. 計画排水方式

大根川、既設水路へ自然排水

##### 3. 計画排水系統

別紙添付（P38-1）

計画排水系統図



凡例

記号	名称
---	地区界
----	既設水路
—	計画水路
路線名 面積 排水量 1/2 排水量 1/10	地区内
路線名 面積 排水量 1/2 排水量 1/10	地区外
A Q 1/2 Q 1/10	幹線 (合理式) 1時間排除 1時間雨量
A Q 1/2 Q 1/10	支線 (合理式) 4時間排除 4時間雨量
Q1/2 (m <sup>3</sup> /s)	2年確率 排水量 流量
Q1/10 (m <sup>3</sup> /s)	10年確率 排水量 流量

4. 計 画 排 水 量

(第 1 1 表 - 1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位 流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備 考
	事業名			(km <sup>2</sup> )			山 地	平 地	山 地	平 地	平 地		山 地	平 地		
	農 地 中 間 管 理 機 構 関 連 農 地 整 備 事 業		計	山 地	平 地						自 然 排 水	機 械 排 水				
							山 地	平 地								
支 線 排 水 路	30.20		30.20	0.1453	0.1567	60.58 40.06	-	5.06	-	-	0.793	0.736	-	-	5.06	第1号支排～ 第2号支用排
			0.00													
			0.00													
			0.00													
			0.00													
			0.00													
			0.00													
			0.00													
計	30.20		30.20	0.15	0.16	-	-	5	-	-	0.793	0.736	-	-	-	-

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
該当なし										
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							
該当なし											
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画面積 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画面積 (m <sup>3</sup> /s)	計画面積 (m)	
		農地中間管理機構 関連農地整備事業		計							
支線排水路	0.302	30.2		30.20	1.529	1.383	U字溝 RC柵渠	大根川	-	-	第1号支排~ 第2号支用排
				-							
				-							
				-							
				-							
				-							
				-							
				-							
				-							
				-							
計	0.30	30.20		30.20	1.529	1.4					

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

<div style="text-align: center;">項 目</div> 路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	5.0 (4.0) × 0.720	碎石	-	第1,8号支
"	4.0 (3.0) × 2.863	碎石	-	第2,5~7,9~16号支
"	4.0 (3.0) × 0.487	コンクリート	-	第3,4号支
耕作道路	3.0 (2.5) × 0.064	碎石	-	第2号耕

(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考
		該当なし		

2. 路線配置図

別紙計画道路図参照 (P44-1)

令和7年度 農地中間管理機構関連農地整備事業 薦野清滝地区  
 計画道路図(変更後) S=1/2,000



記号	名称
	主要道路
	支線道路
	排水路
	用水路
	排水路(1.5m幅)
	排水路(2.0m幅)
	排水路(3.0m幅)
	排水路(4.0m幅)
	排水路(5.0m幅)
	排水路(6.0m幅)
	排水路(7.0m幅)
	排水路(8.0m幅)
	排水路(9.0m幅)
	排水路(10.0m幅)
	排水路(11.0m幅)
	排水路(12.0m幅)
	排水路(13.0m幅)
	排水路(14.0m幅)
	排水路(15.0m幅)
	排水路(16.0m幅)
	排水路(17.0m幅)
	排水路(18.0m幅)
	排水路(19.0m幅)
	排水路(20.0m幅)
	排水路(21.0m幅)
	排水路(22.0m幅)
	排水路(23.0m幅)
	排水路(24.0m幅)
	排水路(25.0m幅)
	排水路(26.0m幅)
	排水路(27.0m幅)
	排水路(28.0m幅)
	排水路(29.0m幅)
	排水路(30.0m幅)
	排水路(31.0m幅)
	排水路(32.0m幅)
	排水路(33.0m幅)
	排水路(34.0m幅)
	排水路(35.0m幅)
	排水路(36.0m幅)
	排水路(37.0m幅)
	排水路(38.0m幅)
	排水路(39.0m幅)
	排水路(40.0m幅)
	排水路(41.0m幅)
	排水路(42.0m幅)
	排水路(43.0m幅)
	排水路(44.0m幅)
	排水路(45.0m幅)
	排水路(46.0m幅)
	排水路(47.0m幅)
	排水路(48.0m幅)
	排水路(49.0m幅)
	排水路(50.0m幅)
	排水路(51.0m幅)
	排水路(52.0m幅)
	排水路(53.0m幅)
	排水路(54.0m幅)
	排水路(55.0m幅)
	排水路(56.0m幅)
	排水路(57.0m幅)
	排水路(58.0m幅)
	排水路(59.0m幅)
	排水路(60.0m幅)
	排水路(61.0m幅)
	排水路(62.0m幅)
	排水路(63.0m幅)
	排水路(64.0m幅)
	排水路(65.0m幅)
	排水路(66.0m幅)
	排水路(67.0m幅)
	排水路(68.0m幅)
	排水路(69.0m幅)
	排水路(70.0m幅)
	排水路(71.0m幅)
	排水路(72.0m幅)
	排水路(73.0m幅)
	排水路(74.0m幅)
	排水路(75.0m幅)
	排水路(76.0m幅)
	排水路(77.0m幅)
	排水路(78.0m幅)
	排水路(79.0m幅)
	排水路(80.0m幅)
	排水路(81.0m幅)
	排水路(82.0m幅)
	排水路(83.0m幅)
	排水路(84.0m幅)
	排水路(85.0m幅)
	排水路(86.0m幅)
	排水路(87.0m幅)
	排水路(88.0m幅)
	排水路(89.0m幅)
	排水路(90.0m幅)
	排水路(91.0m幅)
	排水路(92.0m幅)
	排水路(93.0m幅)
	排水路(94.0m幅)
	排水路(95.0m幅)
	排水路(96.0m幅)
	排水路(97.0m幅)
	排水路(98.0m幅)
	排水路(99.0m幅)
	排水路(100.0m幅)

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業
計画名	薦野清滝地区(変更後)
作成年月日	
縮尺	S=1/2,000 縦横等寸 5 / -
会社名	福岡県土地改良事業財団
事業名	福岡県推薦農地整備事業

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該当なし			

(1) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KC 1			石灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	
			該当なし							

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の 差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)
該当なし										

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千 m <sup>3</sup> )			計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
該当なし									

#### 4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

#### 5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
該当なし						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
30×100	0.3	11.3	72	1m以上	
40×50	0.3未満	4.4	28	1m以上	畑地・樹園地を含む
計		15.7	100		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
【 田 】				
7.8	腐植含量	15	11,700	調査地点No. 1・2
6.5	腐植含量	15	9,750	調査地点No. 3
【 畑 】				
1.3	腐植含量	15	1,950	調査地点No. 1・2
0.1	腐植含量	15	150	調査地点No. 3

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 (mm/日)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 式	備 考
	事 業 名								
	農地中間管理機構 関連農地整備事業		計						
本暗渠	7.8		7.8	灰褐色土壌群粘土質 構造マンガン型	181.91 119.70	3.47	0.7	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	6.5		6.5	黄褐色土壌群粘土型	181.91 119.70	3.47	0.7	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	1.3		1.3	灰褐色土壌群粘土質 構造マンガン型	181.91 119.70	3.47	0.7	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	0.1		0.1	黄褐色土壌群粘土型	181.91 119.70	3.47	0.7	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
計	15.7		15.7						

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			
			該 当 な し			
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			(土 区 壤 名 統)	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
			該 当 な し									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
該当なし				

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
該当なし						

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
		該当なし		
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なし

(2) 計画洪水量

該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該 当 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名 称				位 置						
	型 式	流 域 面 積 (Km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤地質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
堤 体					該 当	な し				
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	
								該 当	な し	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	位置			備考			
型式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設
		固定部	可動部	計			
該当なし							

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水機 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
該当なし											

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構関連 農地整備事業	計								
支線用水路 支線用排水路用水路	26.2	26.2	0.002~ 0.069	3.523	0.183	3.706	RC U字溝	1/300~ 1/800	—	
計	26.2	26.2	0.002~ 0.069	3.523	0.183	3.706	—	—	—	—

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位	外水位	排水量	備考
				(m)	(m)	(m <sup>3</sup> /s)	
	該当なし						
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
	該当なし										
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構 関連農地整備事業	計								
支線排水路	30.20		30.20	0.003~ 0.561	1.397	0.043	1.440	U字溝 RC柵渠	1/300~ 1/800	-
計	30.20		30.20	0.003~ 0.561	1.397	0.043	1.440	-	-	-

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1)道路の総括表

(第19表-1)

項 目 路線名	区 分	幅(有効)(m) × 延長 (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こ う 配 (%)	同 左 の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
第 1, 8 号 支 線 道 路	支線道路	5.0(4.0) ×0.720	砕石	暗渠	ボックスカルバート 横断暗渠	7	-	-	-	
第 2, 5 ~ 7, 9 ~ 16 号 支 道 路	支線道路	4.0(3.0) ×2.863	砕石	暗渠	ボックスカルバート 横断暗渠 コルゲート	20	-	-	-	
第 3, 4 号 支 線 道 路	支線道路	4.0(3.0) ×0.487	コンクリート	暗渠	横断暗渠	1	-	-	-	
第 2 号 耕 作 道 路	耕作道路	4.0(3.0) ×0.064	砕石	暗渠	-	-	-	-	-	

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
該当なし					

2. 索 道

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ( )	
該 当 な し						

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 たり 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
				該 当 な し		
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項目 区分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 たり 標 準 除 礫 量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 な し		
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分	地 目			
	造成工法			
		該 当 な し		
	計			

(4) 地目変換

(第20表-4)

項目	面積 (ha)	工 法	備 考
区分			
	該 当 な し		
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

2. 土 壤 改 良

(第20表-7)

項目 区分	面積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
		該 当 な し			
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

施設名	廃止・既設 利用・改修 新設の別	設置年	設置事業	河川名	集水面積 km <sup>2</sup>	かんがい 面積 ha	構造規模			総貯水量 千m <sup>3</sup>	有効貯水量 千m <sup>3</sup>	備考
							形式	高さ m	堤体積 千m <sup>3</sup>			
該当なし												
計												

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計			
該当なし								

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	堤長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			
該当なし							

第6節 干拓施設

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	
				該当なし						

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
			該当なし				

3. 附属施設

該当なし

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考
		該当なし			

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	
薦野清滝	15.7	30m×100m (3000m <sup>2</sup> )	23,550	15.7	23,550	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
支線用水路	3,212m	U-300B~U-450	U字溝	
支線用排水路	494m	U-600	U字溝	
計	3,706m	-	-	

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
支線排水路	1,440m	500×600	コンクリート柵工	
計	1,440m	-	-	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計														
G-61	7.8		7.8	1/250	VU管	50~65	20	1/500	有孔管	50~60	0.7	10	980	支線排水路	柵渠	99
I-82	6.5	6.5	VU管		50~65	1/500		有孔管	50~60	0.7	10					
G-61	1.3	1.3	VU管		50~65	1/500		有孔管	50~60	0.7	10					
I-82	0.1	0.1	VU管		50~65	1/500		有孔管	50~60	0.7	10					
計	15.7		15.7													

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

該当なし

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)			客 土 土 量 (m <sup>3</sup> )	土 取 場 土 量 (m <sup>3</sup> )	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事業名							
			計					
	該 当 な し							
計								

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	該 当 な し				
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
			該当なし			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
			該当なし	
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
		該当なし	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
	型式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
堤体		該当なし						
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		該当なし						該当なし

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

## 第6章 付帯工事計画

該 当 な し

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …………… 令和 5 年度  
完了予定年度 …………… 令和 9 年度

## 第8章 環境との調和への配慮

### 1. 施工上の配慮

工事施工時には工事に起因する汚濁水の発生を未然に防ぎ環境への負荷を最小限に抑えるよう配慮する。又、区域内に棲息する、希少動物等を発見した場合は、移植等の保護対策を早急に検討する。

### 2. 施工計画上の配慮

排水路、用水路等の合流部や落差工については、溜柵工を多く設置し、流速を抑えた区間を確保することで水生植物、昆虫類の生息空間を創出する。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家の各所に分散する農用地の集団化、その他農業構造の改善及び処分の早期完了を図るため、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
薦野清滝	福岡県古賀市薦野	21.1

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地区計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
薦野清滝	換地交付の基準とする従前の土地の地積は土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合はその地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha)(第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計				
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 の9( )書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県			市 町 村 他	合 計		
						施 土 地 改 良	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 地 合 理 化	施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上	必 要 な 施 設 用 地	公 用 施 設 ・ 公 用 地								宅 地 等	計
薦野清滝	従前の土地	14.6	2.9	-	0.0	-	-	-	17.5	-	-	-	-	17.5	0.1	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.1	3.2	3.3	21.1	
	換地	15.0	0.7	-	-	-	-	-	15.7	-	-	-	-	15.7	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.1	5.0	5.1	21.1	
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
合計	従前の土地	14.6	2.9	-	0.0	-	-	-	17.5	-	-	-	-	17.5	0.1	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.1	3.2	3.3	21.1	
	換地	15.0	0.7	-	-	-	-	-	15.7	-	-	-	-	15.7	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.1	5.0	5.1	21.1	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
薦野清滝	地目別・作物別集団化 営農グループ別集団化	換地は、原則として各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化する。	1~2	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。畦畔の設定にあたっては、原則として短辺が10m以下となるような設定はしない。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
薦野清滝	機械倉庫用地	福岡県古賀市薦野	1,363	特定用途用地	水上 英機 他9名	
	厩舎	福岡県古賀市薦野	1,263	特定用途用地	阿部 忠夫	
	厩舎	福岡県古賀市薦野	204	特定用途用地	阿部 忠夫 他1名	
	墓地	福岡県古賀市薦野	277	特定用途用地	阿部 八千代	
	墓地	福岡県古賀市薦野	228	特定用途用地	石田 末子	
		合計		3,335		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

比例価額清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
薦野清滝	令和7～8年度	令和9年度	令和9年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

区画整理工

(第26表)

区分		事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業 (百万円)	備考
		工事費	532.0	
		工事雑費	8.0	
		地方事務費	26.6	
		計	566.6	
(参考) 関連事業				

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目		年 総 効 果 額	年 総 増 加 所 得 額	備考
	区分		(千円)	(千円)	
農地中間管理機構関連農地整備	作物生産効果		22,248	36,234	
	営農経費節減効果		7,269	8,086	
	維持管理費節減効果		△ 441	△ 150	
	地籍確定効果		591	0	
	非農用地等創設効果		43	0	
	国産農産物安定供給効果		5,727	0	
	計		35,437	44,170	

<参考>

総便益額：716,488 千円

総費用総便益比：1.16

総所得償還率：-%

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
	該当なし			

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図

添付図面参照

2. 計画平面図及び土地利用計画図

添付図面参照

3. 主要構造図

添付図面参照